



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月27日

上場会社名 株式会社ブロンコビリー

上場取引所 JQ

コード番号 3091

URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 靖公

(TEL) 052 (775) 8000

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 川居 徹也

四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日

配当支払開始予定日 平成22年9月24日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	4,058	6.8	456	1.1	465	1.8	254	0.9
21年12月期第2四半期	3,800	—	451	—	457	—	251	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	76	67	—	—
21年12月期第2四半期	75	97	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
22年12月期第2四半期	5,928		4,776		80.6		1,440	74
21年12月期	5,806		4,588		79.0		1,384	30

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 4,776百万円 21年12月期 4,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	—	—	20	00	—	—	20	00	40	00
22年12月期	—	—	20	00						
22年12月期(予想)					—	—	20	00	40	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	8,365	7.7	1,091	16.3	1,102	16.3	602	15.0	181	64

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

詳細は、3 ページ「2. その他の情報(1)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要」をご覧ください。

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	3,315,000株	21年12月期	3,315,000株
-------------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

22年12月期 2 Q	-株	21年12月期	-株
-------------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年12月期 2 Q	3,315,000株	21年12月期 2 Q	3,315,000株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3 ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等は、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成22年8月9日(月)・・・・・・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、海外経済の回復による輸出が増加するなど明るい兆しも見られた一方、所得、雇用環境は依然として不安定で本格的な景気回復には至らない状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、雇用不安・所得減少を抱える消費者の生活防衛意識は依然強く、低価格での販売など企業間の競争が一層厳しくなっております。

このような状況の中、「お客様第一で顧客創造します」の企業理念を掲げる当社は、さらにお客様に喜んで頂けるメニュー開発とサービスの向上に取り組み、第2四半期累計期間において増収増益を達成することができました。お値打ちなランチメニューに加え、平成22年3月のメニュー改訂では、「サーロインステーキ」を導入するとともに、6月には以前からご好評を頂いておりました「ぶどう牛ステーキ」をメニューに復活させ、ステーキ専門店としての強みを活かしたお値打ち感のある商品での来客数増と高付加価値商品による客単価増を狙ったメニュー改訂を実施いたしました。また、人気の「炭焼きがんこハンバーグ」「ブロンコハンバーグ」のさらなる品質の向上に努めた結果、多くのお客様からご支持をいただき、既存店来客数前年比は16ヶ月連続で100%を超えることができました。

ファクトリー(自社工場)では、コスト低減のために商品の内製化の拡大に取り組み、当社の強みである「サラダバー」に使用している主要ドレッシングの製造を開始するとともに、より安全・安心な商品を提供するため衛生管理、検査体制を強化しております。

販促活動といたしましては、お子様のお誕生日をお祝いするイベント等としてご好評を頂いております「キッズクラブ」を強化、6月のメニュー改訂に併せ、「大オーストラリアフェア」と銘打ち、お食事券が当たるスクラッチカードを配付し、お客様の再来店を促す企画を開始いたしました。

新規出店につきましては、「ブロンコビリー東久留米店」、「ブロンコビリー長久手図書館通店」の2店舗を開店した一方、移転のため1店舗を閉店したことにより店舗数は63店舗となりました。また、既存店の活性化のため「ブロンコビリー春日店」の改装を実施し、清潔で楽しいお食事空間を提供するための内装や5名様以上のグループに対応するための客席レイアウトの変更、女性客の増加に対応した設備の増設等を行いました。今後も関東地区を中心に積極的に新規出店を行うとともに、引き続き改装を実施し一段の集客効果を上げてまいります。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高40億58百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益4億56百万円(同1.1%増)、経常利益4億65百万円(同1.8%増)、四半期純利益2億54百万円(同0.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は59億28百万円(前事業年度末58億6百万円)となり1億21百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産が現金及び預金等の増加により1億99百万円増加した一方、新規出店および減価償却費の計上等により固定資産が78百万円減少したこと等によります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は11億52百万円(前事業年度末12億17百万円)となり65百万円減少いたしました。その主な要因は、返済により短期借入金が29百万円、長期借入金が33百万円減少したこと等によります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は47億76百万円(前事業年度末45億88百万円)となり1億87百万円増加し、自己資本比率は80.6%(前事業年度末79.0%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払により繰越利益剰余金が1億87百万円増加したこと等によります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、10億55百万円(前事業年度末7億98百万円)となり2億56百万円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は5億78百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益4億55百万円、減価償却費1億88百万円、たな卸資産の減少額48百万円があった一方、法人税等を2億23百万円支払ったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1億57百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得により1億28百万円支出したこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億64百万円となりました。これは主に、長・短期借入金純額で81百万円減少したことおよび配当金を66百万円支払ったこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年1月27日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用しているものについて事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

② 特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,799,255	1,524,120
売掛金	16,514	23,284
商品及び製品	15,148	29,587
原材料及び貯蔵品	42,704	76,610
その他	103,330	123,563
流動資産合計	1,976,954	1,777,166
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,192,056	2,215,571
構築物(純額)	218,283	220,185
工具、器具及び備品(純額)	275,736	307,613
土地	276,207	276,207
その他(純額)	66,945	72,536
有形固定資産合計	3,029,229	3,092,114
無形固定資産	115,163	118,072
投資その他の資産		
差入保証金	512,930	520,299
その他	293,882	298,770
投資その他の資産合計	806,813	819,070
固定資産合計	3,951,205	4,029,257
資産合計	5,928,160	5,806,424
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	212,126	208,678
短期借入金	78,800	108,500
1年内償還予定の社債	32,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	69,967	88,166
未払金	386,581	365,372
未払法人税等	208,934	233,385
賞与引当金	19,084	12,344
その他	74,229	48,921
流動負債合計	1,081,722	1,097,368
固定負債		
社債	24,000	40,000
長期借入金	27,569	60,874
その他	18,820	19,211
固定負債合計	70,389	120,085
負債合計	1,152,112	1,217,453

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,337	803,337
資本剰余金	713,337	713,337
利益剰余金	3,261,304	3,073,434
株主資本合計	4,777,979	4,590,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,931	△1,139
評価・換算差額等合計	△1,931	△1,139
純資産合計	4,776,048	4,588,970
負債純資産合計	5,928,160	5,806,424

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,800,008	4,058,027
売上原価	1,086,265	1,174,374
売上総利益	2,713,743	2,883,653
販売費及び一般管理費	2,261,938	2,426,825
営業利益	451,804	456,828
営業外収益		
受取利息	1,892	1,030
受取配当金	747	1,145
受取賃貸料	10,720	10,320
協賛金収入	5,951	6,324
その他	3,178	5,108
営業外収益合計	22,489	23,929
営業外費用		
支払利息	3,476	1,595
賃貸費用	9,759	9,684
その他	3,368	3,632
営業外費用合計	16,604	14,912
経常利益	457,689	465,845
特別利益		
固定資産売却益	—	160
特別利益合計	—	160
特別損失		
固定資産除売却損	1,751	10,811
投資有価証券評価損	228	—
店舗閉鎖損失	4,850	—
特別損失合計	6,830	10,811
税引前四半期純利益	450,859	455,194
法人税、住民税及び事業税	189,064	199,187
法人税等調整額	9,939	1,837
法人税等合計	199,004	201,025
四半期純利益	251,854	254,169

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	450,859	455,194
減価償却費	176,486	188,773
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,740	6,740
受取利息及び受取配当金	△2,640	△2,176
支払利息	4,668	1,603
固定資産除売却損益(△は益)	1,751	10,651
店舗閉鎖損失	4,850	—
投資有価証券評価損益(△は益)	228	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,660	48,344
売上債権の増減額(△は増加)	7,105	6,769
長期前払費用の増減額(△は増加)	4,525	5,866
仕入債務の増減額(△は減少)	△65,899	3,448
未払金の増減額(△は減少)	41,812	29,785
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,116	45,466
その他	△8,319	1,491
小計	617,623	801,958
利息及び配当金の受取額	2,640	2,176
利息の支払額	△4,905	△1,682
法人税等の支払額	△213,442	△223,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,916	578,793
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△19,915	△21,773
投資有価証券の取得による支出	△19,416	—
有形固定資産の取得による支出	△220,280	△128,294
有形固定資産の売却による収入	—	1,142
無形固定資産の取得による支出	—	△9,913
有形固定資産の除却による支出	△6,575	△4,797
差入保証金の差入による支出	△19,850	△9,714
差入保証金の回収による収入	5,283	5,000
建設協力金の回収による収入	13,612	12,083
保険積立金の積立による支出	△1,621	△1,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,763	△157,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	80,600	△29,700
長期借入金の返済による支出	△121,560	△51,504
割賦債務の返済による支出	△20,204	△195
社債の償還による支出	△16,000	△16,000
配当金の支払額	△131,032	△66,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△208,197	△164,042
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△75,044	256,861
現金及び現金同等物の期首残高	777,029	798,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	701,984	1,055,116

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。